

4年—Unit5 単元名 Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう

1 単元目標

- ・文具などの学校で使う物の言い方に慣れ親しむ。【慣】
- ・文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。【慣】
- ・文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。【コ】

2 言語材料

○ Do you have (a pen)? Yes, I do. / No, I don't. I [have / don't have] (a pen). This is for you.

○ have, 身の回りの物(glue stick, scissors, pen, stapler, magnet, marker, pencil sharpener, pencil case, desk, chair, clock, calendar), 状態・気持ち (short)

[既出] 挨拶, How's the weather? It's [sunny / rainy / cloudy / snowy]., What day is it? It's (Monday)., Do you like(blue)? Yes, I do. / No, I don't., What (sport) do you like? I like (soccer). (The "A" card), please. How many(apples)? Ten (apples). 状態・気持ち (big, small, long, short), 形, 色, スポーツ, 動物, 飲食物, 数, 身の回りの物(pencil, eraser, ruler, crayon), 数(1–60)

3 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イユックリはつきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようになる。
話すこと (発表)	ウ日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようとする。

4 単元計画(3時間)

時	目標(◆)と主な活動(【】、○)【】=誌面化されている活動	◎評価の観点(方法)
1	<p>◆文房具などの学校で使う物の言い方に慣れ親しむ。</p> <p>○チヤンツ What time is it? (Unit 4)</p> <p>○何かな、予想しよう。</p> <p>・指導者の質問に答えたり、持っているものを数えたりする。</p> <p>○誌面を見てどのようなものがあるかを発表し、文房具の言い方を知る。</p> <p>・指導者の話を聞いて、単元の見通しをもつ。</p> <p>【Let's Watch and Think 1】p.18</p> <p>・文房具の言い方を知り、その数を数える。</p> <p>【Let's Play 1】I spy ゲーム p.19</p> <p>・指導者のヒントを聞いて、自分の持ち物から該当するものを探して言う。</p> <p>・指導者の質問に答える。</p> <p>(BINGO ゲーム)</p> <p>○歌 Goodbye Song (3 年 Unit 2)</p>	◎文房具などの学校で使う物を聞いたり言ったりしている。(行動観察・振り返りカード点検)
2	<p>◆文房具などの学校で使う持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>○BINGO ゲーム</p> <p>○カード■ディステイニー■ゲーム</p> <p>【Let's Chant】 Do you have a pen? p.19</p>	◎文房具などの学校で使う持ち物の質問に答えている。(行動観察・振り返りカード点検)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで、自分の立場で答える形でチヤンツを言う。 <p>【Let's Listen】 p.20</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆箱の中身の紹介を聞き、誰の筆箱かを考えて番号に名前を書く。 ・筆箱の中身について指導者の質問に答えたり、ペアでやり取りしたりする。 <p>○歌 Goodbye Song (3 年 Unit 2)</p>	<p>◎文房具などの学校で使う持ち物の質問に答えている。〈行動!見察・振り返りカード点検〉</p>
3	<p>◆文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。</p> <p>【Let's Chant】 Do you have a pen? p.19</p> <p>【Let's Watch and Think 2】p.20</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の子供たちがかばんの中に持っている物を知り、自分たちの持ち物と比べて気付いたことを口に記入する。 <p>【Let's Play 2】p.21</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアの 1 人が文房具カードを誌面に置いて文房具セットを作り、相手にそれを伝えて同じ文房具セットを作る。 <p>○歌 Goodbye Song (3 年 Unit 2)</p>	<p>◎文房具などの学校で使う物を尋ねたり答えたりしている。〈行動錫察・振り返りカード点検〉</p>

4年 Unit 5—Lesson1 Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくる 1/3 時間

目標 文房具などの学校で使う物の言い方に慣れ親しむ。

準備 児童用テキスト、教師用カード(文房具)、児童用テキスト、さまざまな文房具など、ワークシート(3年 Unit1-2 ビンゴシート)、文具セット、デジタル教材、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価(方法)	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をして、個別にも挨拶する。	
1分	○チヤンツ What time is it? (Unit 4)	・児童と一緒に言う。	デジタル教材
15分	<p>・何かな、予想しよう。</p> <p>・指導者の質問に答えたり、自分の持っているものを数えたりする。</p> <p>○誌面を見てどのようなものがあるかを発表し、文房具の言い方を知る。</p> <p>○指導者の話を聞いて、単元の見通しをもつ。</p>	<p>・指導者はあらかじめ、かばんの中に筆箱、ノート、本、教科書、ホッチキス、マグネット、カレンダー、ハンカチ、時計、鍵などを入れておき、児童に中に何が入っていると思うかと問い合わせ、児童の答えやつぶやきに応じながら、それらをかばんから 1 つ 1 つ出して、紹介していく。また、筆箱の中に入っている物についても紹介する。</p> <p>・鉛筆などは複数入れておき、児童にその束を見せ、何本あるかを予想させてから、児童と一緒に数える。一方的に話すのではなく、物を見せては、Do you have pencils in your desk / bag / pencil case / pocket? How many pencils? Let's count together.などと尋ねたり声をかけたりして児童とやり取りをしながら進める。</p> <p>・児童用テキスト p.18,19 を開かせ、誌面の文房具の中で自分の持っている物はないか尋ねるなどして、児童の興味を高める。また、児童の答えやつぶやきに応じて、誌面にある文房具の言い方を紹介する。その際、デジタル教材で音声を聞かせてもよい。</p> <p>・指導者があらかじめ校内のある先生などのために作成しておいた文房具セットを理由とともに紹介する。また、本単元終末には、このようにみんなもある人のために文房具セットを作ることを告げ、単元の見通しをもたせるようにする。</p>	さまざまな文具など かばん デジタル教材 児童用テキスト 文房具セット
	〈紹介例〉	<p>T : Look. This is for ○○ sensei. I have three blue pencils. One eraser. I have a blue ruler. I have a blue stapler. Two notebooks. One blue marker. ○○ sensei likes blue.</p>	
10分	<p>【Let's Watch and Think 1】 p.18</p> <p>・文房具の言い方を知り、その数を数える。</p>	<p>・映像内容は、2 人の子供がお店屋さんごっこをしている場面 4 種類である。</p> <p>・まずデジタル画面で誌面 p.18,19 を映し、文房具の言い方を確認し、それがいくつあるかと尋ねたうえで映像を見ることで、映像への興味を高める。</p>	デジタル教材

	<p>①A : Welcome to my shop. I have notebooks, calendars, staplers and pencil cases. B : Wonderful. How many notebooks? A : Well, let's count together. One, two, three, four, five, six. Six notebooks!</p> <p>②A : Here is my shop. I have some markers, pencil sharpeners and staplers. B : Pretty. How many markers? A : One, two, three, four, five, six, seven. Yes, I have seven markers and I have six colors.</p> <p>③A : This is my shop. Welcome. I have pencils, erasers, glue sticks and pens. B : Wow! How many erasers? A : One, two, three, four, five, six, seven, eight. Eight erasers.</p> <p>④A : Come on in! This is my shop. I have some pencil cases, magnets, notebooks and markers. B : Great. How many magnets? A : One, two, three, four, five, six, seven, eight, nine. Nine magnets.</p>	

17分	<p>【Let's Play 1】 I spy ゲーム p.19</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者のヒントを聞いて、自分の持ち物から該当するものを探して言う。 ・指導者の質問に答える 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の持ち物を見せながら、児童の持ち物から同じものを探させる。Do you have a pencil? Where is it? (片手を目の上にかざして、探しているジェスチャーをしながら)さまざまな文房具品で行い、児童の身の回りにある文房具品を確認させたうえで行う。 	さまざまな文房具など 教師用カード (文房具)
-----	---	--	-------------------------------

I spy ゲームの進め方

指導者は、誌面の文房具や教室内にある物を1つ選び、その色や形状を I spy with my little eye ... something blue.などと言い、各児童はそれをヒントに該当する物を答える。指導者が選んだ物を言い当てれば、1ポイントもらえる。

児童の実態に応じて、個人やペア、グループで行う。

・単に見つけて言い当てれば終わりではなく、言い当てれば、その文房具について児童とやり取りを行うようとする。ここでは、文房具を題材に児童とやり取りをすることがねらい。

〈やり取りの例〉

T : I spy with my little eye ... something blue.

S1 : (A) Pencil.

S2 : (A) Pencil case.

T : Great. Show me. A blue pencil. A blue pencil case. Very good.

S2 san, do you like blue?

S1 san, how many pencils do you have?

Five? Everyone, how many pencils do you have? Let's count together.

◎文房具などの学校で使う物を聞いたり言ったりしている。
〈行動#見察.振り返りカード点検〉

〈BINGO ゲーム〉	<ul style="list-style-type: none"> ・時間があれば、bingoゲームをする。
-------------	--

	<p>BINGO ゲームの進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> 各児童はbingoシート(3年ワークシート Unit1-2)のマスに、児童用カード(文房具)の10種類のうち9種類を並べる。 指導者が Do you have ~ (文房具)?と尋ね、児童は Yes, I do. / No, I don't. と答えながら、その文房具の絵カードがあれば裏返す。縦、横、斜めのどれか一列がそろえればbingoとなる。慣れてきたら代表児童や指名した児童が指導者の代わりに言う。 	教師用カード (文房具)	
5分	<p>本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p> <p>○ 歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p> <p>・挨拶をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童の英語を使おうとする態度についてよかつたところを称賛する。 児童と一緒に歌う。 挨拶をする。 	振り返りカード デジタル教材

4年 Unit 5—Lesson 2 Do you have a pen?　おすすめの文房具セットをつくろう 2/3 時間

目標 文房具などの学校で使う持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

準備 児童用テキスト, 教師用カード(文房具), 児童用カード(文房具), ワークシート(3年 Unit1-2 ビンゴシート, (Unit 5-1,2), デジタル教材, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価(方法)	準備物
2分	・挨拶をする	・全体に挨拶して、個別にも挨拶する	
8分	○ BINGO ゲーム	・前時と同様に行う。 BINGO ゲームの進め方 各児童はビンゴシート(ワークシート Unit1-2)のマスに、児童用カード(文房具)を並べる。 ・指導者が Do you have ~ (文房具)?と尋ね、児童は Yes, I do. / No, I don't.と答えながら、その文房具の絵カードがあれば裏返す。縦、横、斜めのどれか一列がそろえればビンゴとなる。慣れてきたら代表児童や指名した児童が指導者の代わりに言う。	教師カード (文房具) 児童用カード (文房具) ビンゴシート (3年ワークシート Unit1-2)
12分	○ カード■ディスティニー■ゲーム	活動の進め方 児童は、自分の筆箱の中に入れたいものを、9種類の児童用巻末絵カードから5種類選んで持つように言う。 指導者は、Do you have ~ (文房具)?と児童に尋ねる。その文房具の絵カードを持っている児童は、そのカードを机に出す。5枚すべてのカードがなくなったらあがり。 <やり取りの例> T: Do you have a pencil? S1,2, 3: Yes, I do. (机に鉛筆絵カードを出す) T: Good. Next, do you have a marker? ; S 4: Yes, I do. (机にマーカーの絵カードを出す) S 1,2, 3: No, I don't. T: Only S4? Good.	児童用カード (文房具)
		◎文房具などの学校で使う持ち物の質問に答えている。(行動観察、振り返りカード点検)	
4分	【Let's Chant】 Do you have a pen? p.19 ペアで、自分の立場で答える形でチャンツを言う。	まず、最初は数回聞かせ、ペアで1人が質問し、もう1人が答えるという形でチャンツを言わせる。答える側は、自分が前活動で選んだ文房具品について自分の立場で答えて言うよう指示する。	デジタル教材 前活動で使ったカード (文房具)
	Do you have a pen? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a pencil case? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a ruler? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a pen? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a stapler? Yes, I do. Do you have an eraser? Yes, I do! Look, ten erasers!		

14分	<p>【Let's Listen】 p.20</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆箱の中身の紹介を聞き、誰の筆箱かを考えて番号に名前を書く。 ・筆箱の中身について指導者の質問に答えたり、ペアでやり取りしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の文房具の数や色に注意して聞くように伝えるなど、聞こうとする意欲を高めるようにする。 ・児童の実態に応じて、誌面の4種類の筆箱の中の文房具を確認してから、音声を聞かせるとよい。 ・聞いて終わりにせず、筆箱の中身を題材に児童とやり取りをする。やり取りをしながら、文房具について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しませ、児童自ら I have ~. と言うよう促す。 	デジタル教材 児童用テキスト
-----	--	---	-------------------

Sayo : Hi, everyone. I'm Sayo. Please find my pencil case. I have one eraser, one ruler, two pencils and two pens, red and blue. Can you find my pencil case? (角搭 No.2)

Takeru : HI, I'm Takeru. Please find my pencil case. I have one eraser, one pencil and three pens, red, yellow and purple. Can you find my pencil case? (角搭 No.3)

Hinata : Hello, everyone. I'm Hinata. Please find my pencil case. I have one ruler, one glue stick, two pencils and two pens, red and pink. Can you find my pencil case? (角搭 No.4)

Robert : HI, I'm Robert. Please find my pencil case. I have one eraser and four pencils.

やり取りの例

T : What do you have in your pencil case?

S : Pencil.

T : Pencil? I have pencils, too.

Look. I have two pencils. How many pencils do you have?

S1 : Five.

T : You have five pencils. I have two pencils.

S2, how many pencils do you have?

S2 : Three.

Good. You have three pencils. I have two pencils. S3, how about you?

S3 : I have three pencils.

T : Very good. You have three pencils

・ペアで持っているものについて尋ね合うよう言う。

S1 : Do you have ~?

S2 : Yes, I do. Do you have ~?

S1 : No, I don't

◎文房具などの学校で使う持ち物の質問に答えている。(行動観察・振り返りカード点検)

5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに言己人する。 ○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2) ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度についてよかつたところを称賛する。 ・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。 	振り返りカード デジタル教材
----	--	---	-------------------

4年 Unit 5—Lesson 3 Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう 3/3 時間

目標 文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。

準備 児童用テキスト、教師用カード(文房具)、児童用巻末絵カード(文房具)、デジタル教材、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価(方法)	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶して、個別にも挨拶する。	
2分	【Let's Chant】 Do you have a pen? P19	・児童と一緒に言う。	デジタル教材
	<p>Do you have a pen? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a pencil case? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a ruler? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a pen? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a stapler? Yes, I do. Do you have an eraser? Yes, I do! Look, ten erasers!</p>		
10分	【Let's Watch and Think 2】 p.20 ・世界の子供たちがかばんの中に持っている物を知り、自分たちの持ち物と比べて気付いたことを□に記入する。	・世界の子供たちのかばんの中身を予想させ、興味を高めて;から映像を見せる。 ・視聴後は、共通点や相違点、気付いたことなどを発表させる。また、映像で子供たちがかばんに持っていた物を持っているかどうかを児童に尋ね、持ち物についてのやり取りをして、次の活動につなげるようする。 ・映像資料で紹介される世界の子供たちのかばんの中には、教科書が入っていない。世界では、教科書を学校に置いておく場合が多いが、日本のように毎日教科書を持って帰ることで、家で復習や予習ができる利点があることをおさえておくとよい。	
	Hi, this is my bag. I have a banana. I have an apple. I have sandals, too. I don't have textbooks in my bag. (スウェーデン) ②Hello! This is my bag. I have indoor shoes. I have a water bottle. I have color pencils. I have a toothbrush. I don't have textbooks in my bag. (韓国) ③Hi. This is my bag. I have a sandwich, a water bottle and an apple. I also have a folder with my homework. I don't have textbooks in my bag. (アメリカ)		
24分	【Let's Play 2】 p.21 ペアの1人が文房具カードを誌面に置いて文房具セットを作り、相手にそれを伝えて同じ文房具セットを作る。	・ペアになり、相手に質問をして同じ文房具セットを作ることを告げる。代表児童とデモンストレーションをして、進め方を理解させる。	児童用テキスト 児童用カード (文房具)

<p>活動の進め方</p> <p>・ペア(AとB)になり、まずAがどんな文房具セットにしたいかを考えて、誌面に児童用絵カード(文房具)を並べておく。その文房具セットはBに見えないようにしておく。Bは、Aに文房具についてDo you have ~?と尋ね、Aの答えに応じて、文具カードを自身の誌面において、Aと同じ文具セットを作る。作り終わった後、AとBの文具セットが同じかを確認する。相手を替えて繰り返す。</p>			
		◎文房具などの学校で使う物について尋ねたり答えた りして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード〉	
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかつたところを称賛する。	振り返りカード
2分	○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2) ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材